

ロスプリベンションセミナー  
 気象・海象と荒天操船 - 「向い波」と「追い波」航法 -

日本船主責任相互保険組合  
 ロスプリベンション推進部

2018年春季は、「台風」と「走錨事故例」及び「走錨のメカニズム」についてセミナーを実施いたしました。その続きとして、今回は気象・海象の基礎知識、及び、荒天操船の中でも特に注意が必要な「向い波」と「追い波」をテーマに、海難事故の発生要因となる現象について具体的に解説いたします。本セミナーの主な構成は以下のとおりで、(一社)日本船長協会発行DVD2本の放映を交え講義を行ないます。

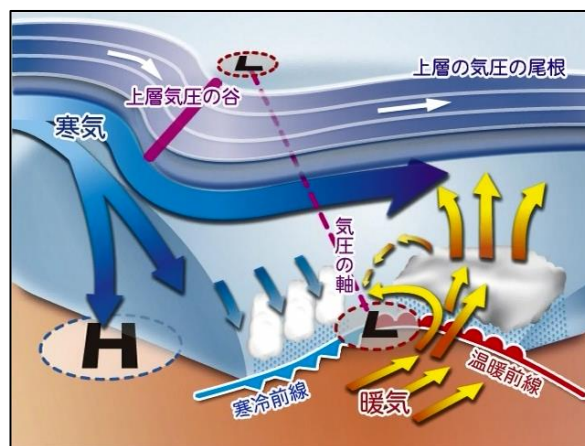
＝セミナー構成＝

1 日本近海の気象・海象 DVD 放映 (2009 年製作)	30 分	(一部抜粋)
2 気象部分の説明	40 分	
＝休憩＝	5 分	
3 「向い波」と「追い波」操船の説明	45 分	
4 荒天追波中の運航方法 DVD 放映 (1997 年製作)	30 分	<b>計 2 時間 30 分</b>

＝セミナーの一部紹介＝

温帯低気圧は、低緯度地方の暖かい空気と極地方の冷たい空気の温度差によって生じる「位置エネルギー」が発生源となります。

中国大陸東部沿岸域から東シナ海付近には、北の大陸性気団と南の海洋性気団に挟まれて前線が定常的に存在しています。そこに、西から上空の「偏西風波の谷」が近づくと、上空の谷の東側の地上気圧は低下傾向を示し、地上でも反時計回りの渦が誘発されて前線上に温帯低気圧が形成されます。また、地上の低圧部と上空の低圧部の中心は西に傾いています。(気圧の軸)

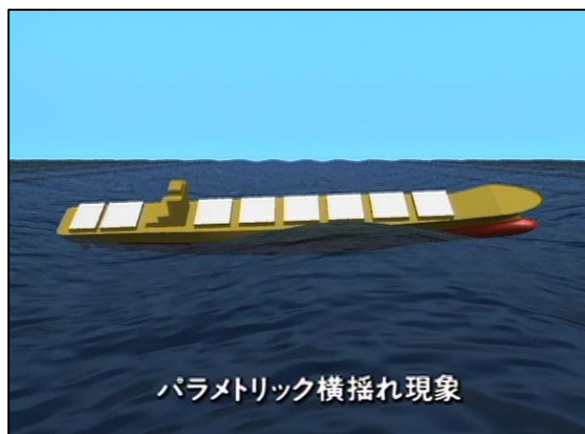


出典:日本船長協会  
 『日本近海の気象・海象及び主要港湾等の特徴』(DVD)

追い波航行中に注意しなければならないのは次の4つです。

- ① 出会い群波現象
- ② パラメトリック横揺れ
- ③ 復原力の減少
- ④ ブローチング(波乗り)現象

皆様のご参加をお待ちしております。



出典:日本船長協会 『荒天追波中の運航方法』(DVD)